

女性知事のすぐやる公約 教育

県立高校の修繕を行います

県立高校では耐震工事が終わったものの、強化されたのは枠組みだけで壁や天井、床はそのまま。壁がはがれたり、床下をジャッキで支えている体育館もあります。地震がきたら天井がおちそうな体育館では避難所になりません。



避難通路・器具は緊急に整備

県の学校運営費は毎年のように削減されてきました。子どもたちに使う、どうしても減らせないものもあるため、それ以外は予算がまわしません。なかには避難通路の渡り廊下が通行できなくなっていたり、避難はしごが老朽化していて使用禁止になっているものもあります。これでは子どもたちを守れません。



私学助成を拡充します。

私立高校への助成を増額し保護者の負担を軽減します。

無利子奨学金を大学生にまで拡大

大学生の2人に1人が奨学金を借りています。その多くは利息付きで「教育ローン」です。県による無利子奨学金の拡大で国にも無利子化を促します。



女性知事のすぐやる公約 経済

一部屋だけでも耐震化 住宅リフォーム補助4万戸

「介護保険適用まで待たず必要になったときから使いたい」「床や壁紙、トイレ・水回りの改修をしたい」「地震が心配だけど全部直すのはとてもお金がかかるので」・・・



県内には危険度の高い旧耐震基準の住宅は推定40万戸あります。しかし現在の制度では部分改修には補助が使えず、申請件数は年間千件台しかありません(←中目 1/5)。こういう部分改修や介護保険適用前の改修など自由に使えるような住宅リフォーム補助が500以上の自治体に広がっています。

消費税引き上げで新規の受注がへるなか、建築業者のなかに期待がひろがっています。県内の建築家からアイデアを募集したり、県内材の活用で地域の産業育成にも一役買っています。

地域経済への波及効果は絶大

表 京大グループが試算した与謝野町住宅リフォーム助成の経済波及効果 (単位: 万円)

	09年	10年	11年	総計
補助金	6993	7822	11629	26444
対象工事費	101461	130749	158872	391082
1次波及効果	160409	206713	251176	618298
2次波及効果	3140	4046	4916	12102
総波及効果	163549	210759	256093	630401

※2次波及効果は、1次波及効果に雇用や家計への波及などを加味して算出したもの

京大の研究者グループは、約40億円の工事が町内の経済活動に与えた影響を計測する「産業連関表」(注)を作成、それを使って住宅リフォーム助成の経済波及効果を分析したものです。

それによると、2億6000万円の補助金投資に対し、約40億円の直接消費(工事費)が行われ、その生産波及効果は63億400万円に及んだと試算。波及効果の総額は、工事費に対しては1.61倍、補助金に対しては23.84倍に上ったとし、「町内商工業の活性化に資する」という制度の目的を果たすものであったことを実証する結果が得られた」と、結論づけています。

初年度は一戸あたり費用の10%、10万円を上限に40億円を予算化します。

みんなの県政

2015年1月号外

発行:革新県政の会 〒460-0011 名古屋市中区大須4-14-57 山岸ビル TEL (052) 261-0294 FAX (052) 261-0181

みんなの県政

2015年1月号外

発行:革新県政の会 〒460-0011 名古屋市中区大須4-14-57 山岸ビル TEL (052) 261-0294 FAX (052) 261-0181